

第 43 回日本・EU 議員会議

共同声明

(2026 年 7 月 8 日及び 9 日 ストラスブール)

アダム・ビエラン団長率いる欧州議会对日交流議員団及び船田元団長率いる日本国会代表团は、2026 年 7 月 8 日及び 9 日、ストラスブールで開催された第 43 回日本・EU 議員会議における率直かつ建設的な議論を終え、以下の共同声明を発表する。

1. 議会レベルを含むより緊密な協力の重要性

- 日本と EU は、多国間主義及びルールに基づく国際秩序を守り、共通の価値と原則の擁護という目標を共有する、極めて緊密なパートナーである。急速に悪化する国際秩序及び予測不可能な地政学的情勢を背景として、我々のパートナーシップの重要性はより高まっている。
- 国民の代表として選出される議員によって構成される議会は、民主主義の礎であり、強固な議会間協力及び議会外交は、こうした取組において不可欠であると確信する。この観点から、我々は、日本国会と欧州議会の関係を更に深化・強化する可能性を検討することで一致する。我々は、日本・EU 合同議会委員会の設立の可能性を検討することを合意した。

2. 欧州、アジア及びその他の地域において複雑化する安全保障上の課題

- 欧州、アジア及びその他の地域において安全保障上の課題が一層複雑化していることを踏まえ、我々は、ルールに基づく安定した国際秩序の維持、世界的な多国間機関の強化、そしてこの議員会議の枠組みにおける我々の継続的かつ緊密な連携を一層重視していくことを再確認する。
- 我々は、ロシアによるウクライナへのいわれのない侵略戦争に対する我々の揺るぎない立場を改めて表明し、ウクライナへの継続的な支援と連帯の必要性を強調する。また、東シナ海及び南シナ海における、力又は威圧による一方的な現状変更の試みに反対し、台湾海峡の平和と安定及び北朝鮮の完全な非核化の重要性を強調する。さらに、米国とイランとの間の覚書の署名を歓迎するとともに、最終合意の早期実現並びに中東全域の平和と安定を期待する。
- 2025 年 1 月 1 日に発効した「日 EU 戦略的パートナーシップ協定」により、安全保障・防衛、海洋安全保障、サイバーセキュリティ、宇宙の分野を含む、より深化した連携が可能になったことに留意し、「日・EU 安全保障・防衛パートナーシップ」の初の成果を歓迎する。

3. 日・EU 競争力アライアンス、文化・科学技術分野における協力、自由貿易

- 我々は、2025 年 7 月の「日・EU 競争力アライアンス」の設立と、「ハイレベル経済対話」を通じた貿易、産業政策、経済安全保障に関する協力を一層強化するという双方のコミットメントを歓迎する。

- 我々は、サプライチェーンの安全保障、戦略的依存、経済的威圧、非市場的政策・慣行及びその結果生じる過剰生産能力、さらには重要・新興技術の保護の必要性、重要インフラの安全保障、特に重要なレアアースの輸出規制など、幅広い課題についての懸念を共有する。
- 文化・科学技術分野における日EU間の協力は、競争力、経済安全保障、イノベーション及び人的交流との関連性を踏まえ、更に強化されなければならない。我々は、この分野においてEUが世界のパートナーに提供し得る最も緊密な協力形態である「ホライズン・ヨーロッパ」への日本の準参加に関する協定の署名を期待する。

船田 元
日本国会代表団団長

アダム・ビエラン
欧州議会对日交流議員団団長